

## 提案書評価基準

### (1) 評価方法

評価委員1人あたり115点満点とし、下記評価項目について評価を行い、合計得点の高い者を特定する。

(2) 評価点が同点の場合の措置

評価委員の採点の合計点数が同点の場合、次の順序で上位の提案をプロポーザルの上位者とする。

- ア 加重倍率が3の項目の合計得点が上位の者  
イ 5点の評価点項目が多い者  
ウ 加重倍率が3の項目に1点の評価点が無い者

(115点満点)

順番	評価項目	評価の着眼点	点数	倍率	満点
			良い >> 普通 >> 良くない		
1	実施体制等 (配点:15点)				
1.1	人員体制	業務を遂行するのに十分な人員・組織体制が、具体性・実現性を持って提案されているか。	5 ・ 3 ・ 1	1	5
1.2	業務管理	本業務を理解し、適切なスケジュール管理及び情報共有がなされる業務管理体制が提案されているか。	5 ・ 3 ・ 1	1	5
1.3	意欲	本業務に対する姿勢が適切で、意欲が感じられるか。	5 ・ 3 ・ 1	1	5
2	提案内容 (配点:75点)				
2.1	システム構築の理解度	システム構築にあたり、目的・課題等を理解し、解決に向けた提案がされているか。	5 ・ 3 ・ 1	3	15
2.2	セキュリティ対策	各工程のリスクについて理解し、セキュリティ基準に沿った提案がされているか。	5 ・ 3 ・ 1	3	15
2.3	システムの工夫	救急隊や医療機関の業務負荷軽減など、利用促進につながる機能・運用方法が提案がされているか。また、任意要件の実現について提案がされているか。	5 ・ 3 ・ 1	2	10
2.4	システムの連携	他のシステムとの連携について、有用な提案がされているか。	5 ・ 3 ・ 1	3	15
2.5	システムの発展性	国が整備するプラットフォームとの連携や今後のDXの発展、新たな技術の導入、拡張性など、将来を見据えた提案がされているか。	5 ・ 3 ・ 1	2	10
2.6	円滑で安定的な運用	円滑で安定的な運用・保守管理を想定できているか。 また、ランニングコストの考え方について、妥当性があるか。	5 ・ 3 ・ 1	2	10
3	操作性向上等に向けた取組内容及び意欲 (配点:15点)				
3.1	操作性向上に向けた取組み	ユーザー目線での操作性向上に向けた取組や、必要な情報にたどり着くための工夫に関する提案について、具体性、現実性、妥当性があるか。	5 ・ 3 ・ 1	3	15
4	業務実績 (配点:5点)				
4.1	業務実績	過去の実績や、自治体をはじめ国内外との業務経験等の実績など、本業務の実績に寄与する事業実績を有しているか。	5 ・ 3 ・ 1	1	5
5	企業としての取組 (配点:5点)				
5.1	ワークライフバランス・障害者雇用、健康経営に関する取組	次の項目を満たしているか (2項目以上:5、1項目:3、0項目:1) <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定 (従業員101人未満の場合のみ加算) <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定 (従業員101人未満の場合のみ加算) <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法による認定の取得 (くるみんマーク)、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又はよこはまグッドバランス賞の認定の取得 <input type="checkbox"/> 若者雇用促進法に基づくユースエール認定の取得 <input type="checkbox"/> 障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.3%の達成 ※達成している (従業員43.5人以上)、又は障害者を1名以上雇用している (従業員43.5人未満) <input type="checkbox"/> 健康経営銘柄、健康経営優良法人 (大規模法人中・小規模法人) の取得、又は、横浜健康経営認証のAAAクラス若しくはAAクラスの認証	5 ・ 3 ・ 1	1	5
合 計					115